

技術士 1 次試験に合格して



石場 彩香

(いしば あやか)

勤務先

株式会社 クマシロシステム設計

計画調査部

〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 18 丁目 1-9 KS フロンティアビル

TEL 011-632-1010 FAX 011-632-1011

E-mail ishiba@ksfnet.co.jp

■ 専門：水産部門

自己紹介

私は札幌出身ですが、北海道大学水産学部 増殖生命科学科に入学し、2 年間は函館で過ごしました。大学では、「カスベから抽出したコンドロイチン硫酸オリゴ糖が、ヒト繊維芽細胞の ECM 産生に及ぼす効果」をテーマに、生理学的な研究をしていました。

昨年から新卒で現在の会社に入社し、漁港の施設整備計画(防波堤・岸壁等)を立案する業務や、漁港ストックの適正化に向けた方策検討業務、また漁村地域の海業振興を支援する業務等に携わっています。学生時代とは必要な視点が大きく異なり、知識不足を実感していますが、その分新たな発見も多くあります。様々な観点から漁港を改善していく仕事を面白く感じながら日々業務に取り組んでいます。

受験のきっかけ

仕事に関する明確な目標が欲しいと考えていた時に、「技術士資格は、この業界で自分が一人前だという証明にもなるよ」と上司に聞き、受験できたらいいなと思いました。また、私の場合、二次試験の受験資格を得られる時期が一次試験合格の 4 年後でした。そのため、資格を取得したいなら早めに受けた方がいいと勧められ、受験を決意しました。

勉強方法

主な勉強方法として、問題を解いて試験の傾向を把握し、参考書等で学習してから再度解く、という過程を約 10 年分の過去問で繰り返していました。その際、有志の方が過去問の解説をネットに公開されていたので、大変参考にさせていただきました。過去に試験を受けた上司から、押さえたほうが良いポイントを教えていただいたりもしました。

また、私は物理学系の問題がかなり苦手なので、可能な限り生物系や数学系の問題の学習を強化することでカバーしました。

専門科目について、私は水産部門で受験しました。水産部門の問題には少々マニアックなものも含まれ、問題に取り組み始めた頃は「こんなの知らないよ、解けないよ」と思う問題が半分以上ありました。しかし、逆に考えると、知ってさえいれば解ける問題であるとも言えました。また、数年分の過去問を解くと、ほぼ同じ問題が出題されることもあるようだと分かりました。その上で、とにかく過去問に目を通し、知識を増やすと、徐々に解けるようになりました。

受験体験

受験の一カ月ほど前、出張に行く機会が多く、机に向かって勉強する時間をあまり取れていませんでした。そのため、受験直前は合格できるか少々不安でした。しかし、試験当日、担当業務に関連のある問題がいくつか出題されており、それらの問題には業務経験を活かして解答できました。業務に真摯に取り組むことも試験合格への近道になるのかもしれないと感じました。

今後の展望

二次試験に向けて、業務や自主勉強を通して継続的な自己研鑽を行っていきます。また、合格者祝賀会のような、技術士補になったことでいただいた機会から、新たな人との繋がりが生まれたいと思います。

受験に際してご助言・激励の言葉をくださった会社の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。